

【児童の実態】

- ・家庭からの愛情を十分に受け、明るく素直な児童が多い。
- ・学習課題に対して創意工夫をしながら、解決までの手順や方法を考え取組むことを好む。
- ・人間関係にナイーブな面を示す児童が多い。

【学校の特性】

- ・一昨年より未来につながる学力の育成を目指し、文部科学省教育課題特例校として「みらい科」を創設した。
- ・高学年がリードする縦割りの学習や活動が多い。
- ・地域や保護者の学校参画への意識が高く、協力的である。
- ・企業連携など先進的な取組を多数行っている。

【学校の教育目標】

人間尊重の精神に基づき、日本人としての自覚を高め、広く国際社会に貢献できる感性豊かな主体的に行動できる人間の育成をめざし、次の目標を設定する。

- 明るい子（感性豊かな心の育成）
 - ・温かい心でみんなに親切にする。
 - ・誰とでも協力し、進んで仕事をする。
- 考える子（思考力・創造力の育成）
 - ・進んで問題に取り組み、工夫して解決する。
 - ・自分の行いをよく反省し、改めようとする。
- たくましい子（生命の尊重・心身の鍛錬）
 - ・進んで、じょうぶな体に鍛える。
 - ・最善をつくし、ねばり強く実行する。

【保護者の願い】

- ・経験や情報を関連づけて、試行錯誤をしながら、新しい解決案を提案する力をつけてほしい。
- ・社会や自然の課題と向き合い、新たな価値を創造しようとする意欲をもってほしい。

【教師の願い】

- ・自律して学ぶ子どもに育てたい。
- ・自分で夢中になれる課題を見つけ、そこから問いを見出し、自ら学び続ける子どもに育てたい。
- ・様々な方法で自分のことを表現できるようにしたい。

【第1の目標】（学習指導要領）

【みらい科（総合的な学習の時間）の目標，育成することを旨とする資質・能力等】

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の「人・もの・こと」を生かした横断的・総合的な学習の時間を行うことを通して、友達や地域の人とともによりよく課題を解決し、自己の生き方を見つめ、未来を考えていくための資質・能力を以下の通り育成することを旨とする。

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識・技能を身に付け、概念的知識にまで高め、実社会・実生活で活用できるものとして獲得できるようにする。	実社会や実生活の中から問いを見だし、自ら課題を見つけ、自ら考えて判断し、よりよく問題を解決できるようにする。 【汎用的スキル項目A】 経験や情報を関連づけたり、思考を視覚化したりして、試行錯誤をしながら、これまでとは違った新しい解決案を提案することができる。（創造的思考力）	他者との関わりを通して、自分の考えを深め、広げることの尊さを理解し、よりよい未来を拓く一員として地域・社会に参画しようとする態度を養う。 【汎用的スキル項目B】 社会や自然の課題と向き合い、新たな価値を創造する持続可能な社会づくりを目指すことができる（自然や社会に関すること）

【汎用的スキル項目について】

これからの時代を生きるために必要な「資質・能力」の上位目標として「汎用的スキル」を設定し、家庭や地域を巻き込みながら、異学年の交流を通して、学校教育から離れたところでも自律して学び続ける人材の育成を目指すために自校研究により追加した項目である。

【汎用的スキル項目A】は、考え、判断することができる児童を育成するため、**【汎用的スキル項目B】**は、行動(実践)することができる児童を育成するために本校独自で設定した項目である。

内容1 【学年総合】

<目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力>

	探究課題 (めやすの時間数)	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
3年	落合のすてきをみつけよう(40)	知識の概念化 地域には、様々な場所があり、それぞれの場所には魅力(すてき)があることを理解する。 技能の身体化 調査活動や情報収集の手順を身に付け、必要に応じて活用することができる。	課題の設定 対象との体験的な関わりを通して課題を設定し、解決方法を考えて追究することができる。 情報の収集 目的に応じた対象者を決め、自分たちの身近なところから情報を集めることができる。	主体性・協働性 課題の解決に向けて目的意識をもち、身近な人と力を合わせて探究活動に意欲的に取り組もうとする。 自己理解・他者理解 自分のよさや自分にできることに気付くとともに、自分と異なる意見や考えがあることに気付き、相手の立場を理解しようとする。
	染に学ぶ(20)	知識の概念化 落合地域に残る伝統文化を知り、継承に力を注ぐ人々の思いや取組を理解する。 技能の身体化 調査活動や情報収集の手順を身に付け、必要に応じて活用することができる。	整理・分析 問題状況における事実や関係、事象を分類したり、数量などで客観的に比較したりして特徴を見つけることができる。 まとめ・表現 相手に応じてわかりやすくまとめ、表現することができる。	自己理解・他者理解 自分のよさや自分にできることに気付くとともに、自分と異なる意見や考えがあることに気付き、相手の立場を理解しようとする。 将来展望・社会参画 自分と地域とのつながりに気付き、地域の活動に参加しようとする。
4年	妙正寺川を守る人々(20)	知識の概念化 落合地区を流れる妙正寺川の環境を保全する人たちが組織があることを知り、自分たちの生活とつながりがあることを理解する。 技能の身体化 調査活動や情報収集の手順を身に付け、必要に応じて活用することができる。	課題の設定 対象との体験的な関わりを通して課題を設定し、課題解決までの見通しをもち、必要に応じて修正しながら追究することができる。 情報の収集 課題解決に効果的な手段を選び取り、必要な情報を集めることができる。 整理・分析 視点を明確にして、様々な意見や情報を比較、関連付けたりし、多面的に考察することで、多様な情報の中にある特徴を見つけることができる。 まとめ・表現 相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ表現することができる。	主体性・協働性 課題意識をもって、自分なりの方法を工夫したり、他者と協働したりしながら探究活動に取り組もうとする。 自己理解・他者理解 探究活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴を理解しようとするとともに、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとする。 将来展望・社会参画 探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。
	SDGsで学ぼう(40)	知識の概念化 SDGsは、自分たちの生活と関係しているということを知り、生活を見直すことが目標を達成につながることを理解する。 技能の身体化 調査活動や情報収集の手順を身に付け、必要に応じて活用することができる。	課題の設定 対象との体験的な関わりを通して課題を設定し、課題解決までの見通しをもち、必要に応じて修正しながら追究することができる。 情報の収集 課題解決に効果的な手段を選び取り、必要な情報を集めることができる。 整理・分析 視点を明確にして、様々な意見や情報を比較、関連付けたりし、多面的に考察することで、多様な情報の中にある特徴を見つけることができる。 まとめ・表現 相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ表現することができる。	主体性・協働性 課題意識をもって、自分なりの方法を工夫したり、他者と協働したりしながら探究活動に取り組もうとする。 自己理解・他者理解 探究活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴を理解しようとするとともに、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとする。 将来展望・社会参画 探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。
5年	伊那についてまとめよう(10)	知識の概念化 伊那の歴史や自然、文化、産業について理解する。 技能の身体化 必要な情報を集め、調べたことや伊那移動教室から学んだことを整理しまとめる。	課題の設定 対象との体験的な関わりを通して課題を設定し、課題解決までの見通しをもち、必要に応じて修正しながら追究することができる。 情報の収集 課題解決に効果的な手段を選び取り、必要な情報を集めることができる。 整理・分析 視点を明確にして、様々な意見や情報を比較、関連付けたりし、多面的に考察することで、多様な情報の中にある特徴を見つけることができる。 まとめ・表現 相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ表現することができる。	主体性・協働性 課題意識をもって、自分なりの方法を工夫したり、他者と協働したりしながら探究活動に取り組もうとする。 自己理解・他者理解 探究活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴を理解しようとするとともに、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとする。 将来展望・社会参画 探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。
	プロフェッショナル(20)	知識の概念化 様々な職業があり、自分も地域や社会の担い手として責任をもち、社会を創造することを理解する。 技能の身体化 様々な人たちとの交流をして学んだことと複数の知識や多様な意見を結びつけながら、自己の将来像につなげる考えをもつ。	課題の設定 対象との体験的な関わりを通して課題を設定し、課題解決までの見通しをもち、必要に応じて修正しながら追究することができる。 情報の収集 課題解決に効果的な手段を選び取り、必要な情報を集めることができる。 整理・分析 視点を明確にして、様々な意見や情報を比較、関連付けたりし、多面的に考察することで、多様な情報の中にある特徴を見つけることができる。 まとめ・表現 相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ表現することができる。	主体性・協働性 課題意識をもって、自分なりの方法を工夫したり、他者と協働したりしながら探究活動に取り組もうとする。 自己理解・他者理解 探究活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴を理解しようとするとともに、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとする。 将来展望・社会参画 探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。
6年				

内容2 【縦割り総合】

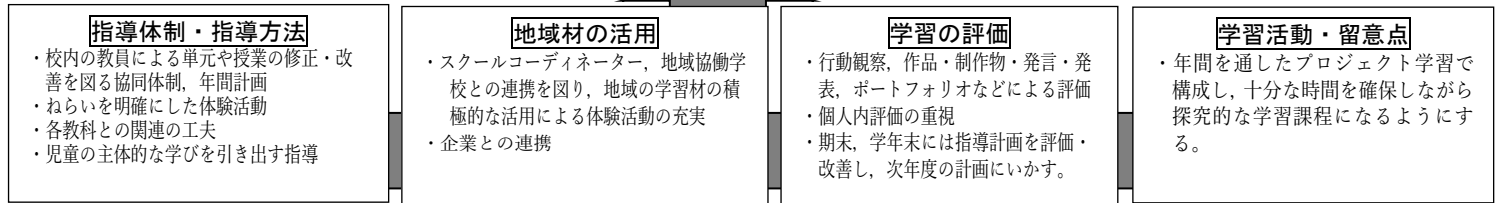
<目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す汎用的スキル>

	共通探究課題 (めやすの時間数)	汎用的スキルA (考え、判断することができる児童を育成するための力)	汎用的スキルB (行動することができる児童を育成するための力)
中学年	「よりよい未来を創造しよう」(30) ・おちろくDASH ・オープンスクール ・縦割り全校遠足	<ul style="list-style-type: none"> 課題を解決するための見通しをもったり、手段や方法を考え、実行しようとしていたりしている。 目的を明確にしながらかつて調べたり、根拠をもって表現したりすることができる。 自己内対話で思考を深めたり、仲間との関わりの中で、新たな考えを見出そうとしていたりしている。 考えたことを文字や図表で表したり、関連づけたりしながらよりよくなる工夫を考え実践につなげようとしていたりしている。 活動を振り返り、自分の達成度や成果を考え、繰り返し取り組もうとしていたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の良さや、自分にできることに気づき、それをいかして取り組もうとしている。 身近な人と力を合わせて活動に取り組んだり、自分と異なる意見や考えがあることに気付き、相手の立場を理解したりすることができる。 自分と地域のつながりに気付き、地域の活動にかかわろうとしている。
5学年	「よりよい未来を創造しよう」(30) ・おちろくDASH ・オープンスクール ・縦割り全校遠足	<ul style="list-style-type: none"> 課題を実現するために、見通しをもって可能な解決方法を考え実行することができる。 根拠をもとに発想を広げて仮説を立てたり、複数の物事の共通点を見出して結果を想定したりすることができる。 振り返りを通して、自分自身や仲間とのかわりについて客観的に考え、次の活動にいかそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動を通して、自分の生活を見直し、自分の良さや自分にできることを理解し、全体を見て自分の役割を考えることができる。 異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重しながら活動に取り組む、みんなの思いや願いを実現しようとしている。

6 学 年	「よりよい未来を創造しよう」 (40) ・おちろくDASH ・オープンスクール ・縦割り全校遠足	・考えたことを視覚的にまとめたり、抽象的に表したりしながら、活動を俯瞰的にとらえ、新たな発想で提案することができる。 ・活動を振り返り、進捗状況を確認したり、目的を達成するための見通しをもったりすることができる。	る。 ・探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとしている。
-------------	--	---	--

【各教科等で育成する資質・能力（総合的な学習の時間②に充てる時間数）】

	国語(10)	社会(5)	特別活動(10)
中学 年	自分の思いや考えが相手に伝わるように表現する力 相手が伝えたい事柄を正確に理解する力		自発的、自主的に活動を進める力
高学 年	自分の思いや考えが相手に伝わるように表現する力 相手が伝えたい事柄を正確に理解する力	観察や調査した事柄を関連付ける力	自発的、自主的に活動を進める力



【学年総合と縦割り総合の相関図】

